



活動報告

第4回 栗原圏域がん医療講演会 平成26年1月16日 会場：エポカ21

講演：東北大学病院がんセンター先進包括的がん医療推進室 中山康子
「一人ひとりの生き方を共に考える」



第4回 登米圏域がん医療講演会

平成26年2月7日 会場：ホテルニューグランヴィア

講演：宮城県立がんセンター相談支援センター
がん看護専門看護師 松田 芳美 先生
「患者と家族の日常を支える相談支援の役割」



栗原圏域、登米圏域がん医療講演会ともに、第4回目のテーマは「がん相談・情報提供」でした。

お二人の先生方には、がん患者さんとご家族が、病に向き合いながら自分らしく生活するために、専門職としてどのように患者さんと関わり、支援していくことが大切なのかについてご講演いただきました。

た。先生方からは「生活者としての患者さんを支援する」という共通の視点を教えていただき、地域で生活しているがん患者さんを、医療・保健・福祉・介護の専門職が手をつないで支援していくことの必要性を理解することができました。

がん医療講演会を終了して

栗原圏域と登米圏域で開催いたしました各4回ずつの医療講演会には、栗原圏域 294名、登米圏域 247名の皆様にご参加いただくことができました。どうもありがとうございました。併せて、栗原地域、登米地域の皆様には多大なるご支援とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

参加者の方々のアンケート結果からは、「明日からの役に立つ」との声を数多くいただきました。これからも、宮城県内でがん患者さん支援のために活動されている専門職の皆さんにご活用いただける研修会を開催してまいります。

地域みんなで作る緩和ケア提供体制に関する研修会

平成26年1月31日 会場：ホテルモントレ仙台 翠鳴館



宮城県疾病・感染症対策室と当推進室の二者主催で開催した「地域みんなで作る緩和ケア提供体制に関する研修会」には、県内から105名の方にご参加いただきました。

宮城県から「宮城県のがん対策について」の説明後、岩手県立中部病院 星野彰先生より「がんになっても安心して暮らせる町をめざして～私たちの町の緩和ケア～」を演題にご講演いただきました。星野先生が活動されている北上市での緩和ケアの取り組みのお話からは、「宮城県でも地域全体で緩和ケアに取り組んでいきたい!」と思うことのできる後押しをいただきました。続いて「登米地域在宅緩和ケア普及・啓発市民講座の取り組みについて」、宮城県登米保健所 岩瀬美津枝氏と登米市市民生活部健康推進課 千葉ますみ氏にご報告いただき、報告後には

登米市民講座で実施した寸劇「あなたや家族が がん」と診断されたら」の一部をご披露いただきました。

参加者の皆さんのアンケートからは、緩和ケア提供構築に向けて活動する際の様々な課題があることがわかりました。がん患者さんが地域で自分らしく生活できるように、「地域みんなで」課題解決に取り組んでいけるよう活動を続けていきたいと思えます。



気仙沼がん緩和実践コミュニティ 第1回カンファレンス

平成26年3月10日

会場：気仙沼市立病院 4階会議室

気仙沼市立病院緩和ケア委員会・がん相談支援センターと当推進室の主催で、気仙沼がん緩和実践コミュニティ 第1回カンファレンスを開催し、当日は、医師・看護師・薬剤師・医療ソーシャルワーカー他54名のスタッフの皆さんにご参加いただきました。

まず、気仙沼市立病院緩和ケア委員会委員長 横田憲一 副院長より「気仙沼市立病院の現状」についてご報告いただき「『早期からの緩和ケア』の理念にかなうべく、『がん相談支援センター』に気軽にアクセスできるシステム作りを考えていきたい」とお話しいただきました。続いて、当推進室長 森隆弘教授から、当推進室の活動と当院がん相談支援

センターの相談状況について報告し、石巻赤十字病院療養支援室の佐藤京子看護係長には「石巻赤十字病院療養支援室の取り組み」と題して、日頃のがん相談業務やがん患者会支援、今年1月に開催した就労カフェ等の取り組みについてご報告いただきました。



平成25年度 第2回 宮城県がん患者会・サロン情報交換会

平成26年3月7日

会場：TKPガーデンシティ仙台勾当台 ホール3

現在、宮城県内にはがん患者会・サロンが27団体・施設あり、それぞれの地域や施設の中で、患者さん支援のための活動を行っています。

情報交換会当日は、17団体・施設の患者会とサロンの代表者、メンバー、支援者の皆さんにご参加いただきました。

当推進室長 森隆弘教授による講話の後に、参加者全員で「宮城県内のがん患者会・サロンのつながりのあり方について」の話し合いでは、活発な意見交換がされました。話し合いの結果「宮城県内のがん患者会とサロンが手を取り合い繋が

て活動していくための話し合いを重ねていく」という方向性を共有することができました。

今年度も、当推進室は宮城県がん総合支援センターと協力しながら、宮城県内の患者会・サロンの横のつながりができるように応援していきたいと思



宮城県版がん情報ポータルサイト「がん情報みやぎ」が平成25年度東北大学病院長賞を受賞しました!!



このたび、東北大学病院がんセンター「がん情報みやぎ」準備チームが、平成25年度東北大学病院長賞を受賞いたしました。これもひとえに、当サイトに情報提供下さいました宮城県内の病院・診療所等の医療機関、がん相談支援センター、訪問看護ステーション、患者会・サロンの皆様と、当サイト作成ワーキンググループメンバーの皆様のおかげです。皆様方のご協力とご支援に厚く御礼申し上げます。

これからも宮城県内のがん患者さんご家族が自分らしく療養するための適切な情報をタイムリーに発信していけるよう努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



表彰状授与式 (26年3月13日)

編集後記

COP通信をご覧いただき、誠にありがとうございます。当推進室は、平成24年4月から2年間の予定で活動してまいりましたが、皆様のご支援とご協力のおかげで、平成26年4月からさらに活動期間が2年間延長となりました。活動規模は若干縮小いたしますが、宮城県内のがん患者支援をめざして、これまでの2年間で土台とした活動を実施できるよう努力してまいります。COP通信は、主に当推進室の活動報告となりますが、今後も継続的に発行してまいります。引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

【発行元】

東北大学病院がんセンター
先進包括的がん医療推進室

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1

Tel:022-717-8885 (直通) Fax:022-717-8886

E-mail:cancercenter@hosp.tohoku.ac.jp

【編集委員】

真溪淳子 / 吉田久美子 / 高橋恭子

